

登録申請者と管理建築士が異なる場合はそれぞれ必要。

登録申請者と管理建築士が同一人の場合は両方を大きく丸囲みし、兼用とする。

添付書類(ロ)

略 歴 書 (登録申請者  
管理建築士)

〔記入注意〕

- 1 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- 2 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
- 3 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

個人印

氏名	大分 太郎		印	生年月日	昭和〇年〇月〇日
建築士の資格	一級建築士	<input checked="" type="checkbox"/>	登録番号	〇〇〇〇	登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)
	二級建築士	<input type="checkbox"/>			
	木造建築士	<input type="checkbox"/>			
	なし	<input type="checkbox"/>			
学歴	年月日	学校名及び学科名		卒業・終了・中退の別	
	昭和〇年3月	□□大学 建築学科		卒業	
職歴	期間	勤務先		地位・職名	
	年月～年月				
	H11年9月～ 現在に至る	株式会社大分県		代表取締役	
	H2年8月～ H11年8月	株式会社福岡県		取締役	
S〇年4月～ H2年7月	有限会社宮崎県		設計士		
歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職歴の期間で学校卒業から現在に至るまで、間が抜けていないか確認する。</li> <li>・無職の期間がある場合には「無職」と記入する。</li> <li>・学歴には最終学歴を記入する。</li> </ul>				